

第3次七戸町長期総合計画策定のための 町民ワークショップ報告書

■ 町民ワークショップの目的と趣旨

第3次七戸町長期総合計画の策定に向けて、七戸町民やこれからの行政を担う若い行政職員のまちづくりに対する想いを聞くための機会として開催しました。

ワークショップをとおして七戸町の現況に対する共通の認識を持ち、より良い七戸町としていくための方法について参加者間の理解を深めます。そして、七戸町の将来像について意見やアイデアを抽出し、計画策定のための基礎資料として反映させることを目的とします。

■ 各回の開催概要と実施の様子

第3回 グループワーク②

- (1) 日 時 令和6年12月19日（木） 18：00～20：00
- (2) 場 所 七戸町役場本庁舎 第1・2会議室
- (3) 参加者 16名（七戸町民9名、七戸町役場職員7名）
- (4) 次 第
 - ① あいさつ
 - ② オリエンテーション
 - ・第1回、第2回ワークショップ報告書の共有
 - ・前回のグループワークで出た意見の振り返り
 - ・町民アンケートの集計結果（速報版）の共有
 - ・今回の作業確認と注意点のおさらい
 - ・ファシリテーターの紹介
 - ③ グループワーク
 - ・七戸町の『光』をさらに良くするために、『影』を改善するために必要なことについて意見を抽出する
 - ・まとめと発表準備
 - ④ 各班成果発表
 - ⑤ その他

(5) 実施内容

① あいさつ

- ・七戸町役場企画調整課 田中課長より挨拶。

② オリエンテーション

- ・第1回、第2回ワークショップの開催概要などについてまとめた報告書を共有しました。町のホームページでの公表にあたり、写真の掲載について参加者より承諾を得られました。
- ・前回のグループワークで出た意見を全員で振り返りました。
- ・町民アンケートの集計結果を共有しました。
- ・今回のグループワークの作業内容と流れを確認し、注意点をおさらいしました。
- ・各班のファシリテーターを紹介しました。

③ グループワーク

- ・A、B、Cの3班に分かれ、各班1名ずつリーダーを指名しました。
- ・七戸町の『光』をさらに良くするために、『影』を改善するために必要なことについて、各自の意見をポストイットに記入しました。
- ・各自の意見を班員に説明しながら、各テーブルに広げられた模造紙に貼り出し、班の中で意見を共有しました。
- ・類似する意見や関連性が高い意見をまとめて見出しを付けたうえで、さらに細分化し、因果関係にある内容や相互に影響し合う内容（まとまり）をつなげるなどして整理しました。
- ・各班成果発表に向け、発表する内容と代表者を決めました。

④ 各班成果発表

- ・A→B→C班の順で、グループワークで出た意見やまとめた内容を発表しました。

⑤ その他

- ・次回ワークショップの開催日時と内容について、アナウンスを行いました。

(6) 要 旨

グループワークにおいては、各班で活発な意見交換が交わされました。

全ての班を通して、七戸十和田駅周辺の環境整備や除雪体制の強化も含め交通環境の整備を促進すべきという意見、既存施設や資源を活用した町の活性化につながるイベントの企画を求める意見、少子高齢化の現状を踏まえたうえでの体制・環境づくりが挙げられました。「影」の部分改善のために、新しいものを創出しようとするのではなく、今ある豊富な資源を基盤として、それらをどのように展開していくべきかという視点からの意見が多く挙げられていました。

各班の成果をみると、A班では食産業に関して、飲食店を増やすことや町の農産物を活かした新商品を開発するという意見が挙げられました。

また、町の雇用確保につなげるため、教育機関と連携した職場体験及び見学や農業に触れる機会を創出することなどが挙げられました。各分野においては、最終的に「七戸町への定住」につながることに焦点を当てた意見がまとめられていました。

B班では、豊かな森林や地形（立地）を活かして自然を体験できる機会の創出や、教育機関と連携した環境保全活動の推進、さらに、「動物」に着目して新たな観光資源とするとともに、エサとなる食物から農(水)産業の振興にもつなげるという意見が挙げられました。町の情報発信にはSNSの活用に加え、他縣市町村と協働して取り組むという意見も見られました。

C班では、新たに事業を始める人や有志団体など、町づくりや地域活性化に対してより積極性のある町民に対する支援体制及び環境づくりを推進する意見や農産物のGI^{*}取得や文化遺産と集客性のあるイベントとを結びつけるなどして、資源の付加価値を高めるといった意見が挙げられました。町をより良くするための取組みとして挙げられた意見は、全て「町民のシビックプライド(地域に対する誇り)を高める」ことにつながるとしてまとめられていました。

※「地理的表示保護制度」を指す。その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する。産品の強みや魅力が見える化され、国による登録やGIマークと相まって、効果的・効率的なアピール、取引における説明や証明、需要者の信頼の獲得を容易にするツールとなる。

※参考：農林水産省「地理的表示(GI)保護制度」https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/

(7) 詳 報

【A班】

分 類	意 見
駅・宿泊	<ul style="list-style-type: none">・ 駅周辺に役場をもってくるのではなく、若い住人が住める様な工夫をする。商店が増えると思う。・ 駅周辺の駐車場の増加！・ 滞在型観光プランの充実。・ 宿泊施設を増やしたい。
イベント	<ul style="list-style-type: none">・ もっと住民が楽しく幸せな気持ちになるようなイベントを考え、工夫してほしい。・ 町民が参加したくなるような企画、イベントがほしい。・ イベントリレーなどをして、全イベントに参加できるようにする。・ 飲食店の活性化のためのイベント（ドリンクラリー等）。・ 人が集まりやすい駅や駅周辺（総合アリーナ等）でのイベントを増やす。・ アリーナや運動公園を活用したイベントの開催。
グルメ	<ul style="list-style-type: none">・ 飲食店を増やしたい。・ 七戸町の食材を生かしたお店（飲食店）を増やす。・ 飲食街のようなものをつくる。一か所行けば用が済むように。・ 多くの人たちがほしがると土産の開発、充実。・ 天間が黒にんにく発祥の地であるPR。・ 質が良い農産物。そのまま。・ 七戸に来ないとのめない酒の製造。・ 酒（日本酒）の開発に力を入れたら、もっと世界に出ていける。・ ナミキ。町民考案の味を取り入れてみる。
生活基盤 【定住】	<p>(職業)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 農業の後継者への支援を増やす。・ 農業の楽しさを教える。種から植え、育て、収穫まですべてやってもらう。・ リモートワークができる環境を整備し、東京で働く子育て世代が町に戻ってきて仕事ができるようにする。・ 地域の職場見学。（小・中・高生対象）・ 職業体験ができる機会を増やす。（学校教育）・ 職業相談ができる機会を増やす。 <p>(娯楽)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 駄菓子やレトロゲームの店。・ 娯楽施設がほしい。・ 土・日・祝日に子どもたちが遊べる施設を増やす。

<p>生活基盤 【定住】</p>	<p>(医療福祉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高度医療病院を増やす。 ・ 高度医療機関医師を派遣する。 ・ 高度医療施設へのアクセス道整備（優先車線）。 ・ 商業施設や病院等への乗合バス・タクシー、巡回バス・タクシーの充実を図る。 ・ 100円バスの運行にICTを活用する。（誰もっていないバスもある。） ・ タクシーを増やす。（バスより利便性がある。） ・ 高齢者向けの交通手段を増やす。（タクシー・バス） <p>(整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車道、歩道。 ・ 歩道の除雪がいつもされていないことが多い。役場（天間林）の近く。 ・ 歩道の除雪をして欲しい。
----------------------	--

【B班】

分類	意見
<p>自然 ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底したスマート農業化。 ・全作物有機栽培。 ・ごみ問題優良者を表彰など。 ・ゴミ問題は小中学校の教育から。 ・地球温暖化対策。分ければ資源、混ぜればゴミ、分別を身近に感じ、大切さを実感してもらえる場の提供や教育の実施。デコ活の推進。 ・山のごみ不法投棄。 県、警察、廃棄物団体との連携強化。罰則の周知と強化。 ・家畜ふん尿等の悪臭問題。堆肥化施設や再資源化施設導入への助成や支援。 ・自然や動物と触れ合う体験が少ない。 周知方法の見直し。他の所とのコラボ。 ・道の駅や家族旅行村にミニ動物園などを作る。 ・ペンギン村。 (補足：駅前などで、旭山動物園のようにペンギンを散歩させて観光資源に。また、動物の飼育に係るエサに着目し、農(水)産業の振興にもつなげる。) ・ふれあい公園の整備。 噴水。高い木を切りブルーベリーを増やす。
<p>観光</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光地の創出と投資。 ・今ある観光資源の活かし方、見せ方のさらなる検討。 ・グリーンツーリズム。農家民宿。事務局必要。 ・自然、地形を利用したイベント。例) ・自転車坂バカ・トレッキングラン ・道の駅。駐車場がもっと広いとよくなる。 ・道の駅がにぎわっている。イベントの継続と周知。 ・新しい店を出しやすい体制づくり。 ・商店街に賑わいが少ない。→イベントの企画。 ・空き家を改装し、宿の代わりに。 ・ビジネスホテル誘致に向け、業界等へのアピール。優遇措置の検討。 ・SNSの利用。 ・町のユーチューブチャンネル開設。他县市町村とのコラボなど。 ・キャンプある、スキーある、美術館…。→もっとアピール。 ・町の魅力をもっとつくる。+ 魅力を伝えるためのアピール方法。 ・町内でできた農作物を活用したものが食べられる場所があるとよくなる。 ・若い人が集まりたくなるカフェ。 ・温泉+カフェがあると若い人が来そう。 ・温泉を活かしたツアー等。 ・車がなくても行ける。観光名所をめぐるバスの運行。

交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺の発展。 ・ 大動脈（新幹線）を活かした交通整備。 ・ 乗合タクシーがあると町内の移動が活発になる。 ・ 交通標識、看板の設置。 ・ 掲示板を立てる。SNSに詳細な地図。 ・ 冬、歩道の除雪はきちんと。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の給食無料。→子育て世代に選ばれる町に。 ・ 子供を産みやすい、育てやすい環境づくり。 ・ 七戸病院の診療科、医師の充実。 ・ 一人暮らしの高齢者。→孤独死の防止。 ・ スーパー・デパートの誘致。→買い物する場所の増加、雇用促進。 ・ 働ける場所が少ない。町からの委託を増やす？新しい開業？

【C班】

分類	意見
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前の空き地に何か作りたいと思えるような政策立案。 ・ 飲食店や宿を開業する人への補助金。 ・ 飲食店が少ない→チャレンジ出店、曜日別オーナー等のチャンスがあれば、始めるハードルは下がるかな？ ・ 異業種間交流。商工会や農協などで産業振興について議論を深めることが必要である。 ・ 道の駅近くに、競合しないお金を落とす交流場を作る。 ・ 交流の場を増やす。 ・ PRの仕方を工夫する。 ・ 農業が盛ん→後継者不足を防ぐためのサポート。 ・ 野菜が豊富→価値を高める魅力ある農業。 ・ 農作物のGI取得。
文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町づくりや地域の活性化に自主的に活動できるような支援体制を進める。 ・ 観光地でのイベントを増やす。 ・ 地域内スポーツの景品（参加賞）を豪華にする。 ・ 町民有志の活動が少ない。→個々の意識を高めるような教育を続ける。 ・ 有志団体の交流を増やすため定期総会をする。 ・ ニツ森貝塚、七戸城跡→野外フェスをする。（食べ物、音楽） ・ 眠る絵馬の活用。
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しく楽ちんな雪かきをできる講座？ ・ 除雪を頼みやすい環境作り。（民間、行政等） ・ 除雪を手伝ってくれる人の確保。 ・ 町の温泉のイメージがないので、団体を作り、町として売り出す。 ・ 地球温暖化防止活動をする。 ・ 夏に涼しい。→避暑地としての活用。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電車の駅をつくる。 ・ 観光地への道路、広くてわかりやすいものを整備する。 ・ 七戸北ICが主要道路の交点になるので、何か作る。
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ シビックプライドを高める。 ・ だし活、健康教室の実施。 ・ 食生活改善、体力づくり等、楽しく楽ちんな講座とか継続できるもの。
人口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の様々な業種を知る機会を増やす。 ・ リモートワークなど、様々な働き方があることを知ってもらう。 ・ 産業対策や起業など、多方面からの協働が必要。 ・ 子育て支援は補助金も大事だがマンパワーによる。ソフト面からの支援を強化すべき。

